2020年度　学校自己評価

学校法人 佐藤学園

広域通信制課程・普通科（単位制）

ヒューマンキャンパス高等学校

Ⅰ. 教育理念･目的･育成人材像

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠･課題･改善方法等
Ⅰ-1	教育理念は定められているか	5.0	佐藤学園としての綱領を定め、教職員は毎日唱和。また教育理念は定められており、HPでも公表。
Ⅰ-2	学校の特色が明確であるか	4.8	通いたくなる通信制高校＋様々な専門分野の教育という特色が明確。登校日数や学費も幅広い選択肢を用意。　通常の高校科目とは別に、多彩なキャリア教育を提供。40以上の専門分野が学べ、将来の進路としては100種以上が考えられる。大学進学･業界プロデビューなど様々な進路に対するサポートを行っている。
Ⅰ-3	学校の中期計画を立てているか	4.3	3ヵ年の計画が明確。中長期の構想も教職員で共有。

Ⅱ. 学校運営

項目	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠･課題･改善方法等
Ⅱ-1	運営方針は定められているか	4.5	進級率、進路決定率、生徒満足度について目標数値が定められている。名護本校の運営方針は毎月の議案検討会で幹部間で共有。
Ⅱ-2	事業計画は定められているか	4.3	毎年度、事業計画が立てられている。安定した学校経営に必用な年間事業計画を作成。
Ⅱ-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3.7	本校と本部が分離しているがICTを有効利用し意思疎通を図る。理事会を頂点に各部門ごとの会議で意思決定がなされている。概ね効率的になっている。
Ⅱ-4	人事や賃金面での処遇に関する制度は整備されているか	3.8	概ね整備されているが更に納得性のある人事考課システムを導入予定。福利厚生にやや改善の余地がある。人事･賃金面での処遇に関する制度は整備されている。
Ⅱ-5	意思決定システムは確立されているか	4.0	組織図に基づいて指示系統･命令系統が概ね確立されている。
Ⅱ-6	情報システム化等による業務効率化が図られているか	4.0	教務部門は概ねシステムの導入が完了。入試広報部門はシステムを導入中。開講以来情報システム化を図ることで、大幅に業務が効率化。

Ⅲ. 教育活動

項目	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠･課題･改善方法等
Ⅲ-1	学習の手引きやオリエンテーションにより、生徒･保護者は通信制高等学校における学習と単位取得、卒業認定に関する理解を得ているか	4.3	学習の手引をはじめとするオリエンテーション資料を本校から各学習センターに配信。一部学習センター長や生徒、保護者で理解度に差が生じている。
Ⅲ-2	学習センターにおいて、各課程に対応した生徒指導、学習支援、キャリア教育が正しく提供されているか	3.9	運営の手引にて各課程の提供内容を定め、学習センター間の格差減少に努めている。
Ⅲ-3	添削指導は適切な内容で、遅滞なく実施されているか	3.7	本校にて月ごとに納期を設定し添削指導に取り組んでいる。システムの導入、本校の添削指導業務マネジメントの向上により、年々品質向上している。
Ⅲ-4	単位認定試験は適切に実施されているか	4.1	校長の指導の下、本校教務を中心に、県規程･学則･教務規程に則り、適切に実施されている。
Ⅲ-5	スクーリングは適切に実施されているか	4.3	校長の指導の下、本校教務を中心に、県規程･学則･教務規程に則り、適切に実施されている。
Ⅲ-6	授業評価の実施･評価体制はあるか	3.8	授業に対する評価は毎年実施。エリアスクーリングについての評価体制は不十分。今後は実施予定。各学習センターの先生のサポート授業に関する評価はデータ集計をしている。
Ⅲ-7	育成目標に向け教科指導、学習支援を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.8	適切な採用選考手続きにより要件を備えた教員を必要な教員数確保している。更なる人材育成に向け、評価導入を検討中。
Ⅲ-8	成績評価･単位認定の基準は明確になっているか	4.5	学則･教務規程により、明確に規定されている。

Ⅳ. 教育成果

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅳ-1	進学率の向上が図られているか	4.0	連絡体制強化により進学率は向上中。 全国の教職員向けに進学相談窓口を設置。生徒の多様な進学ニーズに対応する進路指導ノウハウを共有。また毎年研修を実施しスキルアップを図る。
Ⅳ-2	就職率の向上が図られているか	3.9	連絡体制の強化により改善が図られている。進路指導の研修を実施し、進路指導のレベルアップを図っている。またセミナーを学習センター内で実施し、生徒の就学意欲向上を図っている。
Ⅳ-3	各専門コースは、業界ニーズに基づく専門教育・キャリア教育がなされているか	4.3	各業界のプロを講師として招きレベルの高い教育を提供。各専門コースは業界ニーズに沿った教育内容を提供。ただし、設備面は学習センター間の格差がある。
Ⅳ-4	退学率の低減が図られているか	3.9	本校、学習センターとも退学率低減を意識し、年々改善。欠席がちになるなど生徒の不安要素をすばやく感知し、個別面談を実施することで退学を未然に防ぐ。

Ⅴ. 生徒支援

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅴ-1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3.9	定期的に情報発信し、機能している。本校からの情報発信を今後、更に強化することが期待される。進路指導に関する研修を今後も継続実施。
Ⅴ-2	生徒相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4.1	現場の教員を対象に毎年、職員研修を実施。個別指導が有効に機能している。
Ⅴ-3	生徒の経済的側面に対する支援制度が全体的に整備され、有効に機能しているか	3.8	低金利の提携教育ローン、経済状況を配慮した分納・延納制度が活用されている。学校独自の奨学金制度や学費の月謝制などの取り組みが中期的課題。
Ⅴ-4	生徒の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3.6	年1回の健康診断受診と診断書提出を義務づけている。また本校スクーリング時には養護教員が同行。
Ⅴ-5	学校行事や学外活動により学校生活の充実がなされているか	3.8	各学習センターで年間計画を作成し、実施しており問題ない。校舎によりそれぞれの特徴を生かしている。本校スクーリング、各エリアでの多種多様な学校行事を実施している。
Ⅴ-6	保護者と適切に連携しているか	3.9	学習センターでは三者面談、保護者会を年間、2回前後実施しており、今後は授業参観を実施していく予定。
Ⅴ-7	卒業生への支援体制はあるか	3.2	卒業後の就職・進学相談も各学習センターが対応している。 同窓会の設立が中期的な課題。

Ⅵ. 教育環境

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠・課題・改善方法等
Ⅵ-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.8	直営学習センターは概ね、整備されている。名護本校の環境整備、施設設備の充実も年々、進んでいる。一部学習センターには改善の余地がある。
Ⅵ-2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.2	学習センターにより整備・対応に差異があるためより一層の充実が必要。
Ⅵ-3	防災に対する体制は整備されているか	3.8	法令に従った基準を遵守している。本校・直営・面接指導施設は十分対応している。

Ⅶ. 生徒の募集と受け入れ

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠･課題･改善方法等
Ⅶ-1	生徒募集は適切に行われているか	4.3	学校案内･募集要項に沿った適切な募集活動がなされている。
Ⅶ-2	生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.1	高校全体の進路実績は学校案内にて紹介。学習センターごとの進路実績もツール化し、面談や学校訪問時にて紹介。適切な広報がなされている。
Ⅶ-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4.3	適切な時期に適正かつ公正に実施されている。広く入学希望者の受入を実施している。
Ⅶ-4	学納金は妥当なものとなっているか	4.5	明確な基準が設定されており妥当である。

Ⅷ. 財務

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠･課題･改善方法等
Ⅷ-1	中期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	4.1	安定している
Ⅷ-2	予算･収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.1	適切な計画である。妥当である。
Ⅷ-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4.1	年1回公認会計士による監査を実施している。
Ⅷ-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.8	監査報告書を事務所に備えている。

Ⅸ. 法令等の順守

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠･課題･改善方法等
Ⅸ-1	法令、設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	4.5	法令遵守を最優先に取り組んでおり法令に則った適正な運営がなされている。通信制高校に関する条例に基づき適切に運営されている。法律の遵守を本校･学習センター連携して統制されている。
Ⅸ-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.4	定期的に研修も実施し、個人情報保護法に則った運営体制ができている。個人情報保護体制･規程の整備と学校運営業務での展開･監査個人情報保護の為、適切な対策をとっている。
Ⅸ-3	(学校)自己点検･(学校)自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.8	自己点検･自己評価を実施し、PDCAサイクルによる改善に取組む。常に問題の改善に努めている。
Ⅸ-4	(学校)自己点検･(学校)自己評価の結果を公表しているか	3.8	学校サイト上での公開している。

Ⅹ. 社会貢献

番号	設問	評価点記入欄	設問に対する評価の根拠･課題･改善方法等
Ⅹ-1	学校の教育資源や施設や活用した社会貢献を行っているか	3.9	本校では施設を利用した地域のイベントを頻繁に実施し積極的な地域交流、地域連携で社会貢献に努めている。各センターにおいてもイベントを通し、様々な職業体験を楽しんでもらっている。
Ⅹ-2	生徒のボランティア活動を推奨し、支援しているか	3.6	地域と連携したボランティア活動を特別活動として実施しているが、今後は全学習センターでの実施を促進する。